

令和4年度入学式 告 辞

本日、ここ北海道教育大学札幌校講堂において、令和四年度の入学式を挙行するにあたり、札幌校の一員となられた学部二九〇名、大学院三三名、計三二三名の新入生のみなさんに対し、札幌校の教職員を代表して心より祝意と歓迎の意を表します。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。また、一般社団法人北師同窓会ならびに札幌校教育後援会のご来賓の方々におかれましては、ご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本学五キャンパスの新入生が一堂に会し札幌で実施してきた入学式は、新型コロナウイルス感染拡大により、ここ二年、実施が見送られてきました。今年度は、同日・同内容の入学式を各キャンパスで無事挙行でき、一筋の光を感じています。札幌校では、密を避けるため、午前と午後の二部制で式を実施していますので、実際には、札幌校で共に学ぶ新入生の仲間はここにいる人数の約二倍、そして本学全体の新入生は約十倍いることに思いを致して貰えたらと思います。

さて札幌校は、北海道庁が設置された一八八六年の北海道師範学校の創立が起源とされ、今年で一三六年の長い歴史を有しています。この間札幌校は、教員養成を主な使命として、日本第五位、約一九七万人の人口を抱える札幌市を中心に、全道そして全国に、優秀な教師を輩出してきました。みなさん一人ひとりも、本学そして札幌校の歴史に新たな一步を刻むこととなります。その一步を踏み出すにあたり、本学の「設置目的」を確認したいと思います。

「北海道教育大学は、真理を探究する教育研究の場として、学術文化を創造しつつ、豊かな教養と高い専門性を備え、地域を担う人材を養成するとともに、地域社会及び国際社会の発展に貢献することを目的とする。」

これが学則第一条に謳われている本学の目的です。要は、研究活動を行いながら、教養と専門性の両方を備えた人を創ると共に、社会の発展に貢献することが本学の目的だと謳われているのです。

さらに札幌校の学部には設置されているのは「教員養成課程」です。学則第一三条にはその目的として「現代の学校教育現場の多様な課題に対応できる豊かな人間性、幅広い教養、知性並びに専門的能力を持ち、子どもを深く理解し、北海道の地域特性を活かした教育実践を創造的に展開する教員を養成する。」と謳われています。大学院については省きますが、今述べた資質能力を持つ教員の養成等を通して「社会の発展に貢献する」ことを目指しているのが札幌校なのです。

今、紹介した学則の条項には密度の濃い内容が凝縮されていますが、ここでは、その中の一つの言葉を取り上げたいと思います。それは「専門的能力」です。

学校教育は、人類の英知である「科学・文化・芸術」等を次の世代に引き継ぐという普遍的な使命を持っています。その教育を担う教師は、当然、その中身を理解し、その方法を身に付けておかねばなりません。これは、主に、みなさんの所属専攻の「専攻科目」により身に付けていくものであり、極めて大切なものです。しかし、これだけをもって「専門的能力」とするのであれば、文学部や理学部、芸術学部等で教育されるものと変わりません。

教員養成を主たる目的とする私たち「教育学部」のアイデンティティーは、「科学・文化・芸術」等の本質を、子どもたちの発達段階に応じて何をどのように教育していくのか、さらに人間の成長や可能性をどのように引き出していくのかを教育学や心理学をはじめ様々な領域の研究成果に基づいて「幅広く」学ぶところにあります。その先に得られるのがここで言う「専門的能力」です。「専門的」と「幅広く」は一見矛盾した言葉に感じるかもしれませんが、幅広い領域の「統合」により獲得を目指すのがその「専門的能力」なのです。教師という職業は、そのような能力が必要な「高度な専門職」であります。教育課程におけるこの「統合」は、いまだ発展途上のものですが、みなさんの声も反映させながら、札幌校は進化していく所存です。

最後になりますが、札幌校では、アフターコロナも見据え対面活動を徐々に増やしてきました。これまで、感染が起きている大部分の場面は会食であり、教育活動による感染は確認されていません。先ほど述べた教員養成課程の目的にあった「豊かな人間性」の涵養には、共に学ぶ友人、課外活動の先輩、私たち教職員など、様々な立場の人との人間関係の形成が大切です。コロナ禍での制限下ではありますが、どうか孤立しないでください。マスクの着用や適切な距離を保つなどの十分な感染防止対策をとりながら、色々な立場の人の話に耳を傾け、様々な考え方があることを知り、あるいは自ら意見を述べて、物事を総合的・客観的に判断する習慣を身に付けてください。それが、ものの見方を広げ、人間としての幅を広げることにも繋がります。

みなさんの学生生活が有意義になるよう、また、新型コロナウイルス感染症の早期終息を祈念して、私からの告示といたします。

令和四年四月二日

北海道教育大学札幌校 キャンパス長
田口 哲